



中部大学春日丘高校 SGH課題研究

グローバル課題4領域について知り・気づき・探る学習

～ 環境・エネルギー ～

●開催概要

- ◆ 日 時:平成 29 年 9 月 9 日 (土)3～4 時限 [10:50～12:40]
- ◆ 場 所:中部大学 55 号館 5511 教室
- ◆ 参加者:啓明コース及び国際コース1年生(計 127 名)
- ◆ 講師:中部大学 加々美康彦先生

本日の講演者は、中部大学の国際関係学部で国際法や海洋法を教えている加々美康彦先生。文系を専門とする先生がお話される「環境・エネルギー」のお話には、生徒達は興味津々の様子です。時折冗談を交えてお話される先生の巧みな話術に、生徒達はすっかり引き込まれていました。

●講演（第二次世界大戦の話から）

講演の始まりは、第二次世界大戦のお話から。第二次世界大戦は 1939 年から 1945 年にかけて枢軸国 vs 連合国で争われました。1941 年 12 月 9 日の朝日新聞に「前日に米英に宣戦布告」という衝撃的な記事が掲載され、日本人はとうとう日本も本格的に戦争に突入するのを知りました。しかし、日本による真珠湾攻撃から遡ること 4 ヶ月前、1941 年 8 月 14 日に、米英間で大西洋会談が行われていました。この会談では、大戦後の世界をどうするかが話し合われていました。実際に第二次世界大戦が終戦するのは 1945 年 8 月 15 日。それよりもまだ 4 年も前の出来事です。終戦 1 年前の 1944 年には米英ソ間で、ダバートン・オークス会議が開かれました。戦後、国際機構を作ろうという話し合いのためです。この会議を受けて国際連合が発足することとなりました。

この話から分かることは何か— それは、常に先を考えて行動している人がいるということです。国際情勢を理解し、現状を俯瞰し、未来を予測し、その先の世界をリードしようとする人が必要ではないか。日本人は社会貢献やボランティアに対する意識は高いけれど、リーダーを目指す人は少ないのが現状です。

「フォロワーではなくリーダー」この意識が大切であると、先生は強調されました。



講演の様子



講演メモを取る生徒たち

●講演（温暖化問題）

次は環境問題である温暖化のお話です。1992年に国連環境開発会議が行われ、気候変動枠組み条約と生物多様性条約が採択されました。気候変動枠組み条約は、その後京都議定書、パリ協定へとつながっていきます。そこでも、世界の枠組を作ろうとする国が現れます。

温暖化を食い止めるために、二酸化炭素の排出量を削減しなければなりません。気候変動枠組み条約では、全体で減らしていこうという方向性が決まり、京都議定書では先進国を中心に削減の数値目標達成が義務化されました。日本の削減義務はマイナス6%。しかし日本にとってこの数値目標は厳しいものでした。そこで、数値目標を達成し、まだまだ余裕のある国が「排出権取引」という制度を考えます。つまり、削減目標を達成できない日本は、お金を払って他国から二酸化炭素の排出権利を買ったということです。もちろんそのお金は税金からまかなわれるわけで、省エネに努めなければ、私たち自身がお金を払うことになるのです。排出権取引を提唱したイギリスのプレスコット副首相は「京都会議は我々が取り仕切った」と発言したそうです。

どう主導権を握るか、どうルールメイキングをするか。自分たちにできることを考えることが大切なのです。

●講演（視点を変えて考える）

温暖化は深刻な問題だと考えられているけれど、温暖化にメリットはないのだろうか。先生がそう問いかけられました。「環境問題は解決しなければならない課題」と思い込んでいる私たちにとって、考えてもみなかったことでした。

今までの地球の歴史を振り返ってみると、文明や歴史は冷却によって苦しんできたこと（たとえば恐竜の絶滅）、温暖な地域の方が生物多様性がみられること、氷河が溶けることで航路が変わり、物流に劇的な変化が起こるかもしれないことなど、いくつものメリットも考えられます。

大切なことは、与えられた情報を鵜呑みにするのではなく、自分で考えて、物事を多面的にとらえることです。環境問題はピンチでもあり、チャンスでもある。どんな役割を果たせるのか主体的に考え行動すること。フォロワーではなく、リーダーに。再びこの言葉で講演は締めくくられました。



グループで話し合う生徒たち



質問をする生徒

●ふりかえり（感想）

- ・日本が税金から1562億円を出して排出権を買ったと聞いて、もったいないと思った。
- ・1つの問題に対して各国(色々な利害関係者)によって様々な観点があり、ものの見方を考えることが大事だと思った。
- ・マラッカ海峡における資金援助として日本は民間財団が取り組んでいると聞いたけれど、日本政府は重要な問題として掲げていないのか、気になりました。
- ・日本人は「誰かがこうしたから、私もこうする」という人が多いので、自分から意見を発信できる人になりたい。
- ・アイルランドの地熱発電は、温泉の多い日本でも可能ではないのだろうか。
- ・協定に批准しない国への対策はないのか。また、なぜそれが許されるのだろうか。
- ・温暖化の原因として「太陽活動説」というものがあることを初めて知った。
- ・グリーンランドの権利を他国が狙っているということですが、グリーンランド自国の権利は？